

## 新たなGAP(農業生産工程管理)を推進します

県では、平成29年7月から、「やまなしGAP認証制度」をJ Aグループ山梨と連携しながら推進しています。  
さらに、令和5年4月から、これまでのやまなしGAPの上位基準となる国際水準に対応した「やまなしGAP.ADVANCE」を設定しました。ステップアップを目指す方に対して、認証の取得を支援して参ります。

※詳しくは下記のサイトをご覧ください。  
<https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/gap/gap.html#ygap>



## 「農薬危害防止運動」期間6月1日～9月30日

農薬を使う機会が増えるこの期間に、ラベルの確認、防護具着用、飛散防止対策の実践、散布器具洗浄、農薬の適正保管などを改めて徹底し、農業事故を防ぎましょう。



# 山梨県普及センターだより

編集&発行：山梨県農政部農業技術課  
〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1  
TEL:055-223-1619 FAX:055-223-1622  
<http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/>  
E-mail:nougyo-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No. 57  
令和5年6月16日発行

## オリジナル品種「甲斐ベリー7」の普及に向けて

### 農業革新支援スタッフ【果樹】

「甲斐ベリー7」(「サニードルチェ」×「シャインマスカット」)は、シャインマスカットの特性を引き継ぎ、皮ごと食べられ、華やかなマスカット香を有し食味が優れることから、県内農家から導入が期待されており、県内での早期産地化を図るため、令和2年から県内農家限定で苗木の供給が開始されています。

県では、果樹担当普及指導員とJ A営農指導員の技術向上のため、生育ステージに合わせた研修会を開催しており、令和5年5月12日に、「甲斐ベリー7」の開花期前後の管理について研修を実施しました。

今後も生育ステージに合わせて甲斐ベリー7の普及に向け、技術向上を図ってまいります。



研修会の様子

研究員による実演

## 青色申告をして収入保険に加入しましょう!

### すべての品目が補償の対象です

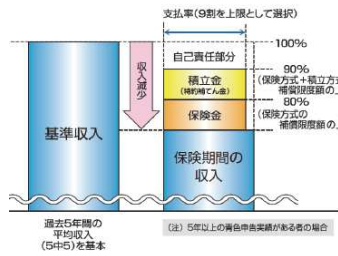
農産物の販売収入全体を補償の対象に、経営努力では避けられないリスクから農業経営を守ります。



### 収入保険のおすすめポイント

- ① 基準収入の8割以上の収入を補償!
- ② 保険料等に国の手厚い補助があります!
- ③ 大きな損害発生時には、無利子の「つなぎ融資」が受けられます!

### 収入保険のしくみ



保険期間の収入が、基準収入の9割を下回った場合に、下回った額の9割までを補償します。

現在山梨県では1,250経営体が加入中!  
令和6年補償分の加入申請を受け付けています。シミュレーションも簡単。お気軽にお問い合わせください。



本所 055-228-4711  
中央支所 0553-22-5056  
山梨県農業共済組合 南アルプス支所 055-282-0443

北部支所 0551-23-1111  
富士支所 0554-45-6611  
ホームページに詳しく掲載→



## トウガラシの系統育成と利用拡大について

### 農業革新支援スタッフ【野菜】

トウガラシは、富士北麓地域では古くから名物「吉田のうどん」の薬味「すりだね」など地元特産の薬味加工品として利用されています。近年、需要が増加していることから、総合農業技術センター岳麓試験地では、更なる生産拡大に向け、品種育成や栽培改良に取り組んでいます。

育成した系統について、J Aや飲食店等の実需者の評価を聞き取ったところ、薬味としての利用だけでなく、黄色、オレンジなどカラフルな色や、葉の需要があることを把握しました。また、「観賞用」として、切り花やドライフラワーとしての利用や、樹高の高い系統は、獣害対策として畑を取り囲む「障壁作物」への利用など、その特徴を活かした新たな活用方法も期待されます。

展示用に場内で栽培していますので、関心のある生産者やJ A等は岳麓試験地まで問い合わせ下さい。



(問い合わせ先：総合農業技術センター岳麓試験地  
電話0555-24-9040)

## 中北地域普及センター

### シャインマスカットの高品質安定生産に向けて

普及センターでは、本県ブドウの主力品種である「シャインマスカット」の高品質安定生産に向けて、管内J Aと連携し、年間の主要管理作業について講習会を開催し、生産者の栽培技術の高位平準化につなげています。

今回は、房づくりについて、気象状況や生育の特徴を踏まえて、管理作業のポイントや注意点及び主要病害虫の防除等について説明しました。また、近年、県内でも発生が確認されている開花異常（未開花症）について、発生が確



房づくり講習会での実演

認された場合は、花穂の房づくりを行う際に上部支梗を活用するなどの対策を説明しました。

中北管内には4つのJ Aがあり、管内4 J Aでは地域毎に講習会を開催するなど、農家に対する手厚い支援を行っています。さらに、J A南アルプス市では、女性農業者を対象にした果樹女性講座の開催も支援しています。

今後も引き続き、J A等の関係機関と連携し、高品質安定生産に向けた支援を行っていきます。



房づくり講習会の様子

## 峡南地域普及センター

### レモン新品種「璃の香」の安定生産に向けた取り組み

レモン新品種「璃の香」は、果実が200g程度と大きく（一般的なレモンは120g程度）、果皮は薄く苦みが少ないのが特徴です。また、酸味がまろやかで、果汁が多く、種子が少ないことから加工にも適しており、峡南地域の新たな特産品として平成30年から試験栽培に取り組んでいます。

しかし、冬期の低温・乾燥により、凍寒害による落葉や枝枯れが発生することがあるため、ビニールハウスや防風垣根などによる防寒や防風対策の実証ほ場を設け、被害の軽減を図るとともに、栽培管理（適正な施肥、灌水、整枝・剪定など）の指導を行っています。

今後も、引き続き栽培実証を行い、生産の安定化に取り組んでいきます。



「璃の香」結実の様子



栽培指導の様子

## 峡東地域普及センター

### 若手職員による峡東地域特選農産物のブランドPR活動を支援

峡東地域では、3市の農産物等のブランド価値向上を目的に、平成18年度に峡東地域特選農産物ブランド化推進会議が設置され、様々な販売促進の取組を実施してきました。平成30年度からは、若者視点を取り入れたPR手法の検討と実践を行うこととし、峡東3市、2 J A、普及センターによる若手職員研究会を組織しました。

令和元年度には首都圏の親子に産地見学や加工、食べ比べ等のモニターツアーを開催し、参加者にはSNS等を通じて峡東地域の魅力を発信してもらいました。

令和2年度以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、特産の果樹等をPRする動画の公開や、オンライン体験ツアーによる新しいPRスタイルの模索を行いました。

昨年度は、東京ガールズコレクション(TGC)に着目し、出演者に峡東産シャインマスカットを提供し、モデル自身のSNSを通じた魅力発信を行っていただきました。併せて、これまで数種類あった市やJ A



▲TGCで出演者にPR



のパンフレットを1つに集約し、峡東地域の農業や特産品を紹介するツールを作成しました。

今後はSNSを開発し、世界農業遺産に認証された峡東地域の果樹農業を中心にPR強化に取り組んでいきます。

## 富士・東部地域普及センター

### 地元消費者に向けた花きPR活動の支援について

富士北麓地域の花き生産者で構成する「富士北麓花き生産協議会」では、本年5月18日に富士河口湖町内のスーパーマーケットで「地産地消花フェア2023春」を開催しました。

当日は花壇苗や鉢花、多肉植物など30種類以上の品目が販売されました。

普及センターでは、フェアの開催を支援するとともに、フェアの来訪者に対し、地域特産の花壇苗や県で育成した「ふじさんアジサイ」の周知と利用拡大についてPRを行いました。

また、今後の花き生産と商品化の参考にするため、購入者を対象に花きの利用方法についてアンケート調査を行い、消費者ニーズを把握しました。

今後も、把握したニーズに合わせた新品目の導入や利用拡大についての取組を支援し、花き産地の強化につなげていきます。



フェア会場の様子